



宇都宮市議会
自由民主党議員会

市民と議会を結ぶ Vol.66

住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA

夢・うつつのみや

発行日：2026年1月26日
発行：宇都宮市議会
自由民主党議員会
住所：〒320-8540
宇都宮市旭1丁目1-5
TEL：028-632-2618
FAX：028-632-7140

令和8年度 宇都宮市予算と政策に対する要望書

令和8年度
宇都宮市予算と政策に対する要望書

今こそ飛躍の時 全世界に輝きを放つ リーディングシティへ

「子育て・教育・学習」分野

結婚や妊娠・出産、子育ての希望をかなえる支援が充実し、安心して子どもを産み育てられる取組を進めるとともに、学校・家庭・地域が連携を深め、地域社会全体で子ども・若者の健やかな成長を支える環境の整備が必要である。また、次代を担う子どもたちには、知・徳・体のバランスの取れた資質・能力や未来をたくましく生き抜く力の育成が必要である。

重点要望

- 小中学校統廃合や義務教育学校配置を含めた適正規模、適正配置の検討
- 児童相談所開所に向けた着実な整備推進(人・機能)
- **【新規】**教育・保育サービスの公定価格の見直しに向けた国への要望

「健康・福祉・医療」分野

急速に進んでいる少子・高齢化という状況のなかで健康で活力ある社会の実現を図るため、自らが健康の維持・増進に取り組むしやすい環境の整備が必要である。また、誰もが住み慣れた地域で、安心して必要かつ適切な保健・医療サービスの提供を受けられる体制の整備が必要である。さらに、市民一人ひとりが他者を理解し、優しさや思いやりの気持ちを持ちながら、安心して暮らせる社会の実現に向け取組を進めることが必要である。

重点要望

- **【新規】**認知症に特化した福祉施策の充実
- 2次救急医療機関との連携、各症状に対応した診療機器等の充実

「安心・協働・共生」分野

自然災害など危機的な状況が頻発する現在、危機管理体制を構築し、減災・防災対策に取り組むことが重要であると同時に、日頃から、自ら備え行動し自身を守る「自助」や、地域で助け合う「互助」を推進し、さらに地域と行政が連携し備えることが重要である。また、市民が主体のまちづくりの実現に向けて、多様な主体の連携促進を図りながら、地域活動の担い手の確保・育成や、地域コミュニティの活性化に向けた取組を進め、持続可能な地域社会を構築していくことが必要である。

重点要望

- 激甚化・頻発化する自然災害への対策強化
- 救急需要増加への対応として「救急車の適正利用」に関する啓発と対策
- **【新規】**自治会条例に基づいた自治会への支援強化

「魅力・交流・文化」分野

本市が「住んで良し、訪ねて良し」の都市となるためには、戦略的な観光事業の推進やスポーツを通じたまち・人づくりに取り組み、地域の魅力を市内外に発信するとともに、官民一体となった来訪者の受け入れ体制を強化していく必要がある。また、東京一極集中を是正し、地方への人・情報の流れを創出するために、交流人口の拡大や移住・定住者の増加につながるよう、さらなる活気と賑わい溢れた住みやすいまちづくりを進めていく必要がある。

重点要望

- 本市プロスポーツの支援
- 宇都宮を新たなホームタウンとする「ホンダヒート」への協力支援等
- 日光等との広域連携によるインバウンド戦略やMICEの推進
- ライトラインの宇都宮駅東口交流拠点施設等をフル活用した魅力向上

「各政策の柱を支える行政経営基盤」

市民ニーズや地域の抱える課題が多様化・複雑化する中で、本市のまちづくりに関する市民・事業者・団体・行政などが一体となつて、持続可能な都市の形成に向けた取り組みを進める必要がある。また、安定した財政基盤の確率や盤石な組織体制の構築、健全な行政運営に努めながら、総合計画で掲げるまちづくりを着実に推進するとともに、ICT技術の活用などにより行政サービスの質を高め、市民ニーズに的確に対応していくことが重要である。

重点要望

- **【新規】**新たな財源の確保
- 都市計画税の税率還元や宿泊税の導入
- 宇都宮ライトレール株式会社の剰余金や、宇都宮ライトパワ―株式会社の営業利益の有効活用
- 地元企業育成につながる入札制度の見直し

「産業・環境」分野

今後の本市産業の競争力強化には、地域の強みある産業を伸ばすとともに、本市のポテンシャルを生かして新たな企業による投資を呼び込み、さらなる産業集積と産業構造の多軸化を進める必要がある。また、持続可能な低炭素社会や循環型社会の構築に向けて、地域全体で先駆的に省エネルギーや再エネの活用、資源の循環利用に取り組む必要がある。

重点要望

- **【新規】**データセンターの誘導支援
- **【新規】**中心市街地のごみ対策の強化
- 土地利用型農業や施設園芸の集約型農業など意欲ある担い手に対する支援拡大

「都市空間・交通」分野

NCCの形成に向け、地域拠点等への住居や都市機能の誘導を促進するとともに、都市拠点においては、県都の玄関口にあつた宇都宮駅周辺地区の再整備や公共交通と一体となった个性的で魅力ある都心部のまちづくりを進める必要がある。また、鉄道やLRT、バス、地域内交通が適切に配置された階層性のある利便性の高い公共交通ネットワークや、安全で円滑な道路ネットワークが構築されるとともに、多様な交通手段が有機的に繋がった誰もが快適に移動できる環境の整備が必要である。

重点要望

- ライトラインの駅西側の早期整備
- **【新規】**利便性の高い交通結節機能を備えたJRR宇都宮駅西口周辺地区整備の推進
- 災害時に対応できる河川整備(越戸川、西川田川、新川等)

令和7年12月(第4回)定例会 本会議 代表質問(抜粋)



熊本和夫議員

質問時間50分
質疑応答の全文を視聴できます



宿泊税について

未来への投資など多くの課題を解決していくためには、**安定した自主財源を確保**していくことも大きな責務と考えるが、全国で導入が進む「**宿泊税**」について、本市でも**早急に検討し、導入**すべきと考える！

佐藤市長 宿泊税の導入にあたっては、税の使い方を明確にするともに、**宿泊事業者等の理解促進**に最優先に取り組んでいくことが何より重要であることを確認した。今後は、**庁内検討チームを年度内に設置**し、観光関係団体や宿泊事業者等の意見も伺いながら、**宿泊税の導入**について検討していく。

夜間休日救急診療所について

持続的な地域医療を守っていくことを第一に、**変わりゆく時代に合わせた医療体制**を考える時が来ているという観点から、今後の夜間休日救急診療所の在り方について見解を伺う！

佐藤市長 初期救急医療提供体制の充実に向けて、現在、本市の初期救急等の現状分析や評価を行っている。今後は**夜間休日救急診療所と二次救急医療機関との併設や高度な**

医療設備の共同利用なども含めた、多角的な視点からの将来の在り方等について、市医師会等関係団体や医療機関と意見交換を行う場の設置に向け、検討していく。

教育行政について

子ども家の在り方検討組織の設置について
令和11年度からの子ども家の指定管理者については全ブロック一斉の選定となるが、令和8年度に**子ども家の在り方について検証・検討する組織**を立ち上げ、議論すべきと考える！

佐藤市長 子ども家の運営については、「**地域連携のあり方**」や「**支援員の働く環境**」の改善などを求めるご意見もいただいていることから、様々な立場の方のご意見を伺いながら、事業の総括や課題等の整理を行っていく必要があると考える。こうしたことから、本市においては次期指定管理者の選定を見据え、令和8年度からの**外部の専門家等のご意見を伺う組織の設置**も含め、子ども家の在り方を検討していく。



その他の質問

令和8年度当初予算編成(市税収入、市債と基金の活用)②ライトラインのJ・R宇都宮駅西側延伸(事業の推進、国・県の補助)③夜間休日救急診療所(年末年始の対応)④上下水道事業(上下水道料金の改定、民間活力を活用した今後の取組、今後の水道料金の見直し)⑤教育行政(小・中・高における市立小中学校の在り方、教職員の不祥事)

令和7年12月(第4回)定例会 本会議 一般質問(抜粋)



内藤良弘議員

質問時間40分
質疑応答の全文を視聴できます



北西部地域体育施設整備に係る今後の取組について

北西部地域体育施設の整備は地域の期待も大きく、**令和9年度中の完成に向けて着実な事業推進が必要**。今後の取組について伺う！

佐藤市長 今年度は、幅広い世代の声を反映させるため、北西部地域の小学校10校の児童を対象としたアンケート調査を実施した。また、地域まちづくり協議会の皆様との意見交換をいただいたご意見を実施計画に反映させたうえで、**今年度内を目標に、施設のイメージや事業スケジュールなどについて説明する機会**を設け、その後、速やかに造成工事に着手していきたい。

北市民活動センターの再整備に向けた検討状況について

建築から40年が経過して施設の老朽化が進み、**利便性の観点から、新たな課題を抱えていることから、新たな用地の取得も含めた再整備等が必要だと考えるが、現在の検討状況を伺う！**

市長まじり 周辺の公共用地の活用や新たな用地の取得も含めて**幅広く再整備のあり方を検討**している。今後は、市民活動や生涯学習の場として利用しやすい諸室、設備のあり方などに加え、新たな用地を取得する場合には、誰もがアクセスしやすい立地環境とするなど、様々な観点から、**地域のまちづくりと生涯学習の拠点**となるよう検討を進める。

その他の質問

障がい者の親なき後への支援の充実②食物アレルギー対応給食の安全な提供体制の確保③上下水道事業

今野哲也議員



質問時間60分
質疑応答の全文を視聴できます



バス停への上屋・ベンチ・駐輪場の整備について

公共交通の利便性向上に努めている中、**バス停上屋、ベンチ、駐輪場**について、さらに**積極的に設置を進めるべきと考えるが、来年度に向けてどのような姿勢で臨むのか？**

総合政策部長 バス停の上屋、ベンチについては、これまで21か所で補助金を活用した整備が行われてきた。駐輪場の整備は令和7年3月末までに40か所を整備し、今年度は公共施設を活用し2か所のバス停付近に整備する予定である。次年度以降も**バス事業者や交通結節点周辺の民間事業者なども協力し、公共交通の利用環境整備**に積極的に取り組む。

鬼怒川・小貝川かわまじり計画について

鬼怒川の宇都宮エリア内のサイクリングロードがリバースポットに順次整備されることになり、**石井桜つつみをはじめとした鬼怒川沿川に地域資源を生かした市民の憩いの場の整備が進むことを期待しているが、本市としてはどのような整備を進めていくのか、現在の検討状況を伺う！**

建設部長 石井桜つつみを中心に川の一里塚など計5箇所、現在、リバースポットの状況に合わせたベンチや案内板のほか、トイレやあずまやなどの具体的な整備内容について検討している。今後は地域住民の皆様のご意見も伺いながら、**令和12年度の整備完了**に向けて取り組んでいく。

その他の質問

地域内交通の利便性向上②非居住住宅への新税導入③ごみステーション設置や維持管理のための支援強化④移住・定住施策の拡充⑤学校給食費無償化

高校生と意見交換

若い世代が考える「高齢者の孤立防止策」とは？



宇都宮市議会では、市民に開かれた議会の実現に向け、若い世代の議会に対する理解促進と広報広聴の取り組みを充実させるため、昨年10月に2度目となる高校生との意見交換を行いました。
参加したのは高校生24名と、議員8名です。1つ目のテーマは、厚生常任委員会の政策討論テーマである「高齢者の認知症対策、見守り、孤立対策」から「**ひとり暮らしの高齢者が孤立しないためにはどうしたらいい？**」で、高校生からは「**地域を主体として高齢者と若者を結びつける**」「**SOSボタンや無線ルーターの無料配布**」「**テレビ電話の活用**」「**市内の小中高校生や先生で見守り交流(クラブ活動・ボランティア)**」などの意見がありました。
2つ目のテーマは、広報広聴委員会の「**議会における広報広聴の充実について**」から「**若い世代に議会や市政に関心を**



持ってもらうにはどうしたらいい？」で、高校生からは「**政治家と議論できる機会を増やす**」「**SNSを活用して市議会を紹介するショート動画を作成**」「**Instagramのストーリーで質問箱や意見箱を作成**」「**学生がよく行くお店と連携してアンケートを実施(答えると特定のサービスを受けられる)**」などの意見がありました。
意見交換を終えて、高校生からは「**教科書やニュースよりも、実際に議会で活動している人から説明を受けられて分かりやすかった**」「**今回の体験をきっかけに選挙への興味が湧いた**」「**このような機会をたくさん増やしてほしい**」などの感想が聞かれました。
宇都宮市議会では、このような意見交換を継続し、若い世代の声を積極的に市政に反映させてまいります。



令和7年12月(第4回)定例会 本会議 一般質問 (抜粋)



舟本 肇議員

質問時間60分
→ 質疑応答の全文を視聴できます

地域まちづくりの支援体制の強化について

●自治会条例に基づいた自治会への支援強化について

自治会に対しては継続的な支援拡充が求められると考えるが、今後、自治会の維持・活性化に向けた支援にどのように取り組んでいくのか？

佐藤市長 新規加入者を含めた自治会内の親睦・交流を深める取組への支援や、地域イベント会場の設営等を外部委託する際の支援など、単位自治会が地域の実情に応じて活用できる新たな支援策を検討していく。

●中心部26地区におけるまちづくり支援担当職員の体制と機能強化と地区の情報収集や本庁との調整機能の強化について

地域コミュニティセンター地区に、地域要望窓口や行政施策の橋渡しの役目を担える職員の配置が必要。地区の情報収集や本庁との調整機能等の強化かつ運営組織が必要であると考えます！

市民まちづくり部長 地域行政機関に、地域と本庁の「橋渡し役」として、まちづくり支援担当職員を配置し、今年度からは市民活動センターの担当職員を2名増員した。今後は、災害時の相談対応をはじめ、地域のニーズを捉えた具体的なマニュアルを整備するなど、職員の育成に努めながら相談機能の充実に取り組む。

その他の質問
①東京電力パワーグリッドとの包括連携協定の効果
②地域まちづくりの支援体制の強化(自治会加入を条件とした様々な補助金の検証)
③建設行政(老朽化した擁壁の安全点検とその対応法、本市が管理する道路や公園、河川におけるアダプト制度、若手技術者の表彰制度)
④教育行政(教職員の働き方改革)



小林 紀夫議員

質問時間60分
→ 質疑応答の全文を視聴できます

人口減少・少子高齢化時代の「新しい発想」について

●自治会加入のインセンティブについて

自治会加入率が向上しない問題について、発想を変えて「自治会に入っていない方がお得」とする方向にして、部だけでなく市全体の問題とすることで解決の糸口が見えてくるのではないかと？

佐藤市長 地域イベントでの活用に加え、現在、市内外の180を超える店舗等で「宮PASS」を活用したサービスに協力いただいているほか、プロスポーツチームにおいて自治会員を無料で試合に招待いただくなど、民間においても自治会加入促進に向けたインセンティブ創出の取組が広がりをみせている。今後は様々な主体が一丸となって、新しい発想でさらなる強化に取り組んでいく。

地元企業の人材採用力・定着力の強化について

●地元企業の人材採用力・定着力の強化について

帝京大学で採択された文部科学省の補助事業は、企業と学生が共に学ぶ唯一のプログラムであるため、更なる連携を強化し、企業力を高める取組を進める必要があると考えます！

佐藤市長 帝京大学のリカレント事業について、本市は事業実施委員として参加企業の募集や事業周知に協力している。今後は、参加企業の人材採用力などの取組事例やアイデアなどの成果を市内企業にフィードバックすることにより、企業が抱える課題解決に役立てることが可能になることから、さらなる連携を図り、企業力の向上を支援していく。

その他の質問
①人口減少・少子高齢化時代の「新しい発想」(都市公園の活用、各種政策における「新しい発想」)
②地域学校園と地域のさらなる連携
③ふるさと住民登録制度
④農村地域の活性化(伝統文化の維持、小さな農地の有効活用、林産物の産地化、集落の共同墓地の管理)
⑤平和教育(修学旅行、慰霊碑の清掃活動)



岡本源二郎議員

質問時間60分
→ 質疑応答の全文を視聴できます

入札制度について

●入札制度について

理財部長 建設工事全体の95%を超える工事において、入札への参加資格を市内本店に限定し、競争入札を行うなど、地元企業への優先受注に努めている。今後は、地元企業が持続的に成長し、市内経済の活性化が図れるよう、適切な入札制度の運用に取り組む。

●子ども遊び場の整備について

子ども部長 市内における屋内の子どもの遊び場の立地状況については「ゆうあいひろば」や民間の子どもの遊び場が街中に多く立地している一方、郊外への立地は少ないため、郊外に子どもの遊び場を整備する必要性は高いものと捉えている。新たな全天候型の遊び場については、自家用車でのアクセス性なども踏まえながら、郊外への整備を含め検討を進める。

その他の質問
①マイナンバーカードの保有から活用
②発達障害がある子どもやその保護者の相談窓口
③まちなかの回遊促進(アートを活用したまちなかの活性化、二荒山神社から宇都宮城址公園までの歴史軸帯を空間創出)
④教育行政(不登校の未然防止、学習者用デジタル教科書の導入)



若林 芽育議員

質問時間60分
→ 質疑応答の全文を視聴できます

中心市街地のごみ対策について

●中心市街地のごみ対策について

ごみの散乱は治安の悪化につながる。夜間巡回を増やすための指導員の増員や最新テクノロジーを活用した新たな対策を講じる必要があると考えます。今後、どのように中心市街地のごみ対策を進めていくのか伺う！

佐藤市長 ごみのポイ捨て等の防止強化に向け、指導員による夜間巡回の実施期間や回数の見直しの検討を進めている。最新技術を活用した取組については、ごみ対策の手法の一つと考えられることから、国の補助制度や他自治体の事例等の情報収集を行いながら、スマートゴミ箱をはじめとした効果的な取組を検討する。

保健福祉行政について

●保健福祉行政について

超高齢社会の進行で認知症がより身近な問題になっていく。認知症の社会全体への理解促進に向けて、AR拡張現実などの先端技術を活用したアプローチも有効だと考えるが、どのように取り組んでいくのか伺う！

保健福祉部長 本市では、認知症サポーター養成講座を開催しているほか、認知症の方が行方不明になった際に地域住民が主体となり、早期発見に繋げられるよう「捜索訓練マニュアル」を活用した訓練を、今年度初めて河内地区で実施し、地域全体でのアプローチに繋がった。今後は、ARなどの先端技術の活用も検討しながら、さらなる認知症の理解促進に努める。

その他の質問
①女性活躍に向けたネットワークづくりの推進
②保健福祉行政(無痛MRI乳がん検診の導入、脊髄側弯症の早期発見に向けた検診体制の強化)
③小中学校における余裕教室の活用
④本のまちづくり(本でつながる「まちの交流拠点」の創出、子どもの読書の質の向上)

保坂栄次議員に対する3度目の議員辞職勧告決議案を可決！

保坂議員はSNS上で、ライトライン(LRT)に関する特定の者への誹謗中傷ととれる内容などを投稿し、倫理委員会が設置されましたが、その倫理委員会において、誠実さが全く見られない言動に終始したため倫理違反と認定、答申が出されました。しかし、出された措置に全く応じず、議員としての職責を果たすことは困難であると判断し、6月と9月の定例会において議員辞職勧告決議案が提出され、5名の退席者がありましたが、全会一致で可決しました。その後も保坂議員は反省する態度を示すどころか、自己本位の解釈による言動を重ねたため、12月定例会において3度目の辞職勧告決議案が提出されました。今回の提出にあたり、議会運営委員会において、提出側の委員より「市民の負託を受けた議員は出された決議案に対する意思を表明することが責務であり、今回は退席ではなく意思表明をすべきである」との発言もあり、前回までは退席した日本共産党宇都宮市議団の3名は反対という意思を表明したが、市民連合(8名)のうち2名は意思表明せず、前回、前々回に続き今回も退席となりました。なお、前回までは賛成だった緑の地球の1名は反対へ回りました。このような経緯はあったものの、令和7年12月定例会において、宇都宮市議会は保坂議員に対する3度目の議員辞職勧告決議案を賛成多数で可決しました。

各会派の採決結果		
自由民主党議員会	19名	賛成
市民連合	8名	6名賛成【2名退席】
公明党議員会	6名	賛成
清風クラブ	3名	2名賛成【欠席1名】
日本共産党宇都宮市議団	3名	反対
うつのみや維新	3名	賛成
緑の地球	1名	反対
参政党 政治参加を促す会	1名	賛成



「外国人の不動産取得制限」と「医療・福祉・保育関係従事者の処遇改善」についての意見書を提出!

宇都宮市議会では、令和7年12月定例会において、わが会派主導で国に対して2つの意見書を掲出しました。

1 議員案 第12号 外国人及び外国法人による不動産取得を制限する法整備を求める意見書

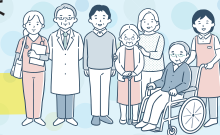
【提出の理由】国として、外国人等による土地所有の実態調査を早急に実施するとともに、安全保障に支障を及ぼすおそれのある土地の取得・利用・管理の規制に関する施策を総合的に推進すべきであることから、外国人等による不動産取得を制限する法整備について強く要望するため。

採決 **賛成多数で可決**

2 議員案 第13号 診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬及び保育等の公定価格の改定等を求める意見書

【提出の理由】国において、医療・福祉・保育関係従事者の適正な給与の引上げによる処遇改善と地域経済の底上げ実現に向け、診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬及び保育等の公定価格について、次期改定を待たず物価上昇に応じた財政支援を早急に行うよう強く要望するため。

採決 **全会一致で可決**



陳情 第49号 「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める意見書提出に関する陳情の不採択について

令和7年12月定例会において「全ての公務員の任用に国籍条項を定める法律」の制定を求める意見書提出に関する陳情が提出されました。わが会派としては、本市の現行制度において、公権力の行使や意思形成に関わる職には既に国籍条項が適用されているため、願意は達成されていると考えます。また、本陳情は「全ての公務員」を対象にしていますが、国籍要件の一部撤廃の対象となっている本市小中学校の英語教育補助員であるALT (Assistant Language Teacher) など一部の資格職と作業員においては必要であると考えことから、本陳情を不採択といたしました。



県内自治体初!
障がい者の親なき後の支援「専用相談窓口」設置へ

令和8年4月を目途に、本市の障がい福祉課に、県内初となる「親なき後相談窓口」を設置することになりました。これは12月定例会において、わが会派の内藤良弘議員の質問に対する答弁で明らかになったものです。障がい者の親やその家族の不安や心配事を詳しくお聞きし、各家庭の希望や本人の障がい特性に応じて日常生活を支える障がい福祉サービスや親の予期せぬ事態に備える「緊急時相談支援事業」などに適切につなげるとともに、成年後見制度等の利用を支援するなど、親なき後に向けた相談・支援体制の強化に取り組んでいく方針です。

宇都宮市議会 トピックス

井上咲楽の **サクサク! うつのみや市議会**

とちぎテレビで絶賛放送中!
市議会ホームページからも視聴可能です

<p>会長 熊本 和夫 くまもと かずお (松原) 6期</p>	<p>議長 塚田 典功 つかだ のりかつ (松原) 6期</p>	<p>副会長(幹事会担当) 岡本 芳明 おかもと よしあき (上籠谷町) 5期</p>	<p>副会長(総務会担当) 舟本 肇 ふなもと はじめ (御幸ヶ原町) 5期</p>	<p>顧問 小林 紀夫 こばやし のりお (海道町) 5期</p>	<p>ご意見・ご感想は身近な当会議員に!</p> <p>皆様方より頂戴した声に耳を傾け、市民に開かれた市議会を目指し引き続き頑張って参ります!!</p> <p>TEL 028-632-2618 FAX 028-632-7140 URL http://www.miya-jimin.jp/</p> <p>宇都宮市議会 自民党 <input type="button" value="検索"/></p> <p>広報誌電子版 URL http://www.miya-jimin.jp/magazine.html</p> <p>※役職は新年度の役職です。○内の数字は期数です。</p>	
<p>総務会長 今井 政範 いまい まさのり (陽東) 4期</p>	<p>副会長(政調会担当) 馬上 剛 うまがみ こう (馬場通り) 4期</p>	<p>副政調会長 山崎 昌子 やまざき まさこ (下荒針町) 3期</p>	<p>幹事長 篠崎 圭一 しのざき けいいち (雀宮町) 3期</p>	<p>副議長 黒子 英明 くろこ ひであき (上小倉町) 3期</p>	<p>副幹事長 兼 副総務会長 内藤 良弘 ないとう よしひろ (宝木本町) 3期</p>	<p>政調会長 柴田 賢司 しばた けんじ (古賀志町) 2期</p>
<p>会計 兼 政調会 矢古宇 芳一 やこう よしかず (岩原町) 2期</p>	<p>会計補佐 長谷川 武士 はせがわ たけし (西川田) 2期</p>	<p>幹事会 菅原 一浩 すがわら かずひろ (中岡本町) 2期</p>	<p>政調会 今野 哲也 こんの てつや (石井町) 2期</p>	<p>政調会 岡本 源二郎 おかもと げんじろう (下岡本町) 2期</p>	<p>政調会 手塚 泉 てづか いずみ (峰) 1期</p>	<p>幹事会 兼 政調会 若林 芽育 わかばやし めぐみ (馬場通り) 1期</p>